特定非営利活動法人　奏海の杜

平成２６年度　事業報告書

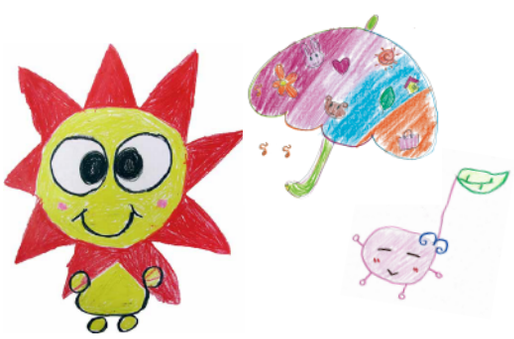
（平成２６年４月１日～平成２７年３月31日）

【1．事業の成果】

設立以来続けている障がい児・者の日中活動支援は、H26 年度で３年目に入った。利用者の方々との信頼関係が築けてきたことや、研修や経験を重ねたスタッフのスキルが向上したことなどにより、体制的にも整ってきた。当事業は、平成 25 年４月から南三陸町日中一時支援事業の受託により続けていたが、７月１日より児童福祉法に基づく放課後等デイサービスという形になり、よりきめ細やかなサービスを提供できるようになった。また、７月１日から南三陸町の相談支援事業所ぱらそるを開所して障がい児の計画相談を始め、12 月 24 日には登米市の日中一時支援事業の委託を受け、地域の障害福祉の向上を図るとともに、法人の基盤整備に努めている。

地域交流企画としては、昨年度に引き続きハロウィンやサンタパレードへの参加など、積極的に地域へ出る活動を続けている。ダンス講師を招き日々の活動で練習を重ねた結果、毎年６月に仙台で行われる「とっておきの音楽祭」へ初出場を果たせた。

平成２６年度は、続けている障がい児・者の活動支援により、NPO 法人としての地域に根ざした活動が、形になってきた年度であると言える。



【2．特定非営利活動に係る事業に関する事項】

（1） 乳幼児、障がい児・者、高齢者等の日常生活支援に関する事業

① 子ども広場　にこま～る

※ 南三陸町日中一時支援事業と、児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業（H26.7.1 より）

〈運営理念・方針〉

◎ 丁寧に日常生活を送ることで出来ることを伸ばし、子どもが自ら考え、健康な心を養うことをサポートする。将来の本人らしい自立を一緒に考え、子どもも大人も育ち会える場を目指す。
◎ 障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、学校教育と相まって、障がい児の自立の促進をするとともに、放課後等の居場所を提供する。
◎ 事業の実施にあたっては、意思や人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
◎ 人材育成情報共有に努め、安定した支援が行える体制を整える。
◎ 地域との結びつきを重視し、市町村や学校、他事業者、その他のサービスを提供するものなど他機関との連携に努める。
◎ 防災に関する情報収集、備蓄の管理など、災害時に対応出来るよう整備する。

子ども広場 にこま～る利用実績（平成26年度）

	開設日数（日）	のべ利用者（人）	一日当たり利用者（人）	収入（円）		
				日中一時	放課後デイ	月合計
4月	24	103	4.29	275,032		275,032
5月	23	113	4.91	249,044		249,044
6月	25	104	4.16	229,023		229,023
7月 日中（成人/放課後）	26	85	3.27	182,283		
放課（夏休み・土曜）	10	33	3.3		310,100	492,383
8月 日中（成人/放課後）	20	40	2	86,541		
放課（夏休み・土曜）	16	61	3.81		542,730	629,271
9月 日中（成人/放課後）	26	107	4.12	208,525		
放課後（土曜日）	3	4	1.33		83,610	292,135
10月 日中（成人/放課後）	26	123	4.73	244,582		
放課後（土曜日）	3	4	1.33		38,640	283,222
11月 日中（成人/放課後）	23	99	4.3	223,258		
放課後（土曜日）	6	10	1.67		96,580	319,838
12月 日中（成人/放課後）	19	88	4.63	180,565		
放課（冬休み・土曜）	8	26	3.25		248,350	428,915
1月 日中（成人/放課後）	23	112	4.87	282,374		
放課（冬休み・土曜）	8	18	2.25		184,490	466,864
2月 日中（成人/放課後）	23	98	4.26	297,514		
放課後（土曜日）	4	18	4.5		173,290	470,804
3月 日中（成人/放課後）	25	94	3.76	297,993		
放課（春休み・土曜）	12	38	3.17		367,030	665,023
合計	293	1378	4.7	2,756,734	2,044,820	4,801,554

〈活動概要〉

◇　活動内容：本人や親御さんに面接して作成した個別支援計画に基づく療育。
　　学校（バス停）～活動場所～自宅間の送迎を含む。
◇　利用者の状況：放課後等デイサービス・・小７名、中２名、高１名
　　日中一時支援事業・・成人５名
◇　活動時間：毎週月曜～金曜：午前 10 時～午後２時、放課後～午後６時頃
　　土曜、長期休暇：９時～18 時頃
◇　活動場所：放課後・・南三陸町入谷公民館和室（本吉郡南三陸町入谷）
　　土曜・長期休み、成人の日中活動・・法人事務所（登米市中田町）
　※　活動場所が入谷公民館の時は、全員を南三陸町日中一時支援事業で行い、
　　奏海の杜事務所の時は、児童生徒は放課後等デイサービスの事業で行う。

24 時間テレビからリフト車を！

〈H26 年度総括〉

今年も子ども達の本人らしい自立を一緒に考え、子どもも大人も学び会いながら本人の意思を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供を心がけた。また安定した支援が行えるよう多方面に出向いて研修を重ね支援の質の向上に努めた。相談支援事業所「ぱらそる」と連携し、町の保健師や学校、その他のサービスを提供する機関との情報共有が徐々に図れるようになり、地域全体で子どもの成長を考えようという気風になってきたのは大きな一歩である。しかしながら、依然として活動場所が南三陸にないため、平日は入谷公民館での日中一時支援事業、土曜・長期休業日は法人事務所での放課後等デイサービス事業という形態になっている（送迎による総走行距離 70,027km）活動場所での不利は否めないが、土曜・長期休業日には子どもと成人利用者が一緒に活動し、それぞれが自分の役割を感じ取り、ともに支え合う場面が見られるのは、にこま～るの大きな特徴であり、強みとなっている。

ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー　ー

②　相談支援事業所　ぱらそる

※ 障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援サービス及び児童福祉法に基づく指定障害児相談支援サービス（H26.7.1 より）

〈運営理念・方針〉

◎　相談支援事業を通して、障がいのある方の本人らしい自立を支援し、障がいの有無に関わらずみなが安心して暮らせる地域の実現に貢献する。
◎　利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じて、利用者の選択に基づき、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的活効率的に提供されるよう配慮して行う。
◎　事業の実施に当たっては、利用者に提供される障害福祉サービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立に行う。
◎　市町村、障害福祉サービス事業者等との連携を図り、地域に置いて必要な社会資源の改善、開発に努め、自らその提供する指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の評価を行い、常にその改善を図る。

以上の運営理念・方針に沿って、電話や訪問により相談支援、サービス等利用計画の作成を行った。

〈活動概要〉

◇　活動内容：計画相談支援及び、児童相談支援。
　　利用者およびご家族の方々とのアセスメントをもとに、地域における保健、医療、福祉、教育等の多様な事業者との面談を重ねてサービス等利用計画を作成する。
◇　利用者の状況：障がい児１６名（対象児童数 19 人）
　　障がい者　０名（対象者数 120 人）
　　平均利用人数：２人 / 月
◇　営業時間：月曜日～金曜日
　　（国民の祝日、12/29～1/3 を除く）
　　午前９時～午後５時

利用実績（平成26年度）

	利用者(人)	収入(円)
10月	3	47,610
11月	3	55,410
12月	3	55,410
1月	2	36,940
2月	2	36,940
3月	1	18,470
合計		250,780

〈児童相談支援　相談の流れ〉

◇ 相談依頼 → 契約 → アセスメント → 障がい児支援利用計画（案）サービス等利用計画（案） の作成 → 本人（保護者）の確認 →

→ 計画案の提出 → サービス担当者会議の開催 関係者協議 → 障がい児支援利用計画 サービス等利用計画　の作成 →

→ 本人（保護者）の確認 → 計画の提出 → サービス利用開始

・本人（保護者）との面談回数：52 回（1 人あたり平均：3,2 回）

◇　サービス担当者会議・関係者協議
関係者　事業所　：にじのはクラブ、気仙沼市マザーズホーム、めぐみキッズハウス
学校　：気仙沼支援学校、志津川小学校、伊里前小学校、あさひ幼稚園、志津川保育所
戸倉小学校
行政　：南三陸町保健福祉課、志津川保健センター、
・関係者協議回数：６１回（１人当たり、平均３．８回）

〈H26 年度総括〉

今回は、相談支援事業所の開設した初年度であったため、相談件数は少ないが、時間をかけながらできるだけ丁寧にアセスメントすることと、関係者へのご挨拶と周知も兼ねて積極的に学校や事業へ訪問し、関係者間の情報共有と連携が深まるように心がけた。当事者や家族からは、専門的視点で課題や支援目標の明確にし、要求や思いを実現するための支援について、行政や関係者からは、サービス担当者会議やケース会議等の開催などのコーディネートについて、大いに期待が寄せられている。

ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

③　地域交流に関する事業

※ 障がい児・者の地域の交流を図るため、イベントを企画または実施に協力した。また積極的に他の事業所や団体との交流を持ち、地域交流の協力体制を作った。音楽やダンスの活動は、軸の１つとして今後も継続していく予定である。

地域交流事業

月	日	場所	内容
4	4	南三陸	杜の伝言板ゆるる取材（南三陸学習支援の場へ）
	21	仙台	お花見会へ（CILたすけっと）
5	2	登米	にこまるお泊まり会
6	1	仙台	とっておきの音楽祭出演（にこまる48/9家族参加）
	12	南三陸	きょうされん視察研修協力（南三陸案内）
	19	仙台	杜の伝言板ゆるる編集会議協力
	24	登米	カリタスジャパンにて講演
7	27	石巻	みちのくにょっきりフェスタ（にこまる48）
	28～30	登米	高校生ボランティア受け入れ（石巻西高校）
8	1	仙台	にこまる社会見学（仙台空港）
	2～5	大阪・京都	かんさい☆なう（児童2名、保護者3名参加）
	18	登米	高校生ボランティア受け入れ（志津川高校）
	19～23	登米	職場体験受入（スイッチ仙台）

とっておきの音楽祭で弾けました！

初めてのひとり旅かんさい☆なう

気仙沼大島でデイキャンプ

月	日		内容
9	2	石巻	日本ＮＰＯ学会事例発表
	5	南三陸	大正大学研修会講演（子どもの教育現場から学ぶ旅）
	12	村田	村田高校講演（たすけっと）
	13	気仙沼大島	みちのくTRYデイキャンプ参加（児童成人7名参加）
	23	南三陸	はり灸レンジャー受け入れ
	25	南三陸	南三陸NPO連絡協議会打ち合わせ
10	4	南三陸	南三陸町福祉まつり参加（児童成人8名参加）
	12	石巻	かんさい☆なう同窓会参加（2家族参加）
10	20	登米	筑波大学調査協力
	25	登米	株式会社主人公視察受け入れ
	30	南三陸	にこまるハロウィン（児童成人9人参加）
11	1	南三陸	口腔ケア講座（児童成人5人参加）
	18	仙台	全国生涯学習ネットワークフォーラム参加
	23	大阪	東北関西ポジティブ生活文化交流祭参加
	24	石巻	ソロプチミスト表彰式
	24	大阪	大阪市城東区ピアフェスタ参加
	27	南三陸	にこまる成人式〈児童成人9人参加）
	29	南三陸	ダンスワークショップ参加（エイブルアート）
12	23	仙台	サンタパレード参加（2家族参加）
	25	登米	24時間テレビリフトカー納車
	25	登米	にこま～る避難訓練（児童成人9人参加）
	27	登米	にこまる忘年会（児童成人5人参加）
1	23	南三陸	南三陸町立志津川小学校実践発表会出席
2	10	南三陸	yes工房打ち合わせ〈南三陸地域連携）
3	6	登米	南三陸NPO連絡協議会打ち合わせ
	15	南三陸	ボランティア感謝のつどい参加（のぞみ福祉作業所と）
	24	南三陸	はり灸レンジャー受け入れ
	26	登米	南三陸NPO連絡協議会調査報告会
	28～29	仙台	ゆめ風基金総会、交流会、たすけっとイベント参加

とっておきの音楽祭へ向けてダンス練習

今年も参加させていただきました！

テレビの取材に協力的なにこまるさん

さんさん商店街でハロウィンパーティ

南三陸町福祉まつりでもにこまる 48

〈H26 年度総括〉

平成 26 年度は前年度より「より外へ」と地域交流活動を広げた年であった。なかでも２月より練習を始めたとっておきの音楽会 2014 に参加の際は、活動中も自宅で個人練習を行うなど、それぞれが意欲を見せて本番を向かえた。とっておきの音楽祭だけでなく７月にはにょっきりフェスタ、９月には交流バーベキュー、10 月には南三陸町福祉まつりでも披露する機会があった。積極的に地域に出ることにより、他の事業所や団体と交流を持てたのは大きな成果といえよう。今年度も引き続き地域交流を積極的に行って行く予定である。「より外へ出た１年」は、新しい活動世界での経験が成長につながり、当事者だけでなくスタッフもよい刺激を受けた。

（２） 社会福祉に関する調査、研修、教育、啓発、情報提供に関する事業

① スタッフ研修

※ 各方面のご協力のおかげで、主に障害特性の理解や具体的支援の方法など、実際の支援に直結する研修を選んで受講、スキルアップを図った。（H26 年度合計：81 回）

【スタッフ研修】

月	日	場所	内容	
4	9	南三陸	リトミック講師来訪（ウィメンズアイ）講師：後藤みき氏	とっておきの音楽祭へ向けた練習
	12	仙台	相談支援実務研修（CILたすけっと）	相談支援についての基礎・応用など
	18	南三陸	リトミック講師来訪	とっておきの音楽祭へ向けた練習
5	20	南三陸	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	現場見学ビデオ撮影
	23	南三陸	地域連携についてのアドバイス	南三陸の現状について
	26	登米	宮城県育成会アドバイザー研修（宮城県基盤整備事業）	平成26年度事業について
	30	仙台	NPO組織基盤強化のためのワークショップ（杜の伝言板ゆるる）	法人運営について
6	19	南三陸	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	現場の様子を撮影（7/17にて支援方法を学ぶ）
	22~23	仙台	こどもはぐくみファンドフォーラム	子どもの支援を考える。事業者間交流
	25	石巻	あったか地域の大家族（このゆびと～まれ）	共生型の支援について
	25	仙台	発達障害者支援の展望(アーチル)	生活障害の予防を意識した望ましい支援
	26	南三陸	リトミック講師来訪（ウィメンズアイ）	音楽に合わせて体を動かし、現場で使える遊びを学ぶ
7	7	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	個別支援方法についてのアドバイス
	12	郡山	重度訪問介護研修（NPO法人あいえるの会）	重度訪問介護の基礎を学ぶ
	17	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	ビデオを視聴（利用者の傾向や支援の仕方）
	14~15	仙台	重度訪問介護実地研修（CILたすけっと）	重度訪問介護の現場実習
	30	気仙沼	発達障害の特性の理解と支援（気仙沼支援学校）佐藤牧子氏	障害のある児童・生徒の特性の理解、適切な支援方法
8	2	仙台	当事者の体験談から学ぶ（東北福祉大学）	発達障害の具体的支援方法・理解と対応について
	5	大阪	放課後等デイサービス研修（そうそうの杜）	現場見学、事務処理や支援の仕方を学ぶ
	5	石巻	福祉サービス事業者等集団指導	昨年度の実地指導・監査結果をふまえ、再度周知
	28	登米	地域連携についてのアドバイス	南三陸での事業について
	30	仙台	自閉症スペクトラムの理解と告知　吉田友子医師	自閉症の理解と応用について・告知の方法について
9	1	多賀城	相談支援研究会（宮城東部地域自立支援協議会）	相談支援に必要な基本的視点・手法
	6	仙台	発達障害における移行期の支援（東北福祉大学）蔦森武夫氏	発達障害について
	9	登米	「支援者の目線を身につけよう」（奏海の杜）	9/1の相談支援研究会の研修（現場で生かせる視点について）
	11	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	個別支援について
	17	仙台	リスクマネジメントセミナー	法人のリスクに備える
	27	仙台	子どもの放課後セミナー（NPO法人ぱるけ）	子どもの支援に関わる事業者間の情報共有
	30	登米	宮城県育成会アドバイザー研修（宮城県基盤整備事業）	相談支援の基礎・注意点に関して
10	3	南三陸	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	にじのはクラブへ訪問　発達を促す遊具・今後の研修
	11	仙台	発達障害講座（東北福祉大学）	地域支援ネットワークに支えられた特別支援教育
	15	南三陸	ダンス講師来訪（ウイメンズアイ）後藤みき氏	音楽に合わせて体を動かし、現場で使える遊びを学ぶ
	16	南三陸	発達障害研修会（志津川保健センター）	発達障害・自閉症・発達障害の特性について
	16	登米	放課後等デイサービス実地指導	宮城県東部保険福祉事務所
	17	登米	地域連携についてのアドバイス	事例について学ぶ
	21	気仙沼	授業公開・検討会参加（気仙沼支援学校）	学校での様子や取組、連携・支援の在り方を考える

10	28	登米	アドバイザー研修（宮城県基盤整備事業）	相談支援、法人運営
	30	登米	臨床心理士研修（宮城県基盤整備事業）	TEACCHについて
11	2	多賀城	きょうだいの想いについて考える（西村学・山形大）	大人になろうとしている”きょうだい”の思いを知る
	6	南三陸	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	個別支援計画や家族支援に関して等の情報交換
	8	仙台	家族を支える・ペアレントトレーニング（東北福祉大）	発達障害の具体的な支援の仕方
	16	気仙沼	知的障害のある肩の高齢化と重度化に対応した支援	計画相談の重要性について（宮城県育成会）
	17	南三陸	アドバイザー研修（宮城県育成会）	モニタリングについて
	18	仙台	全国生涯学習ネットワークフォーラム・宮城大会	地域課題の共有、事例を学ぶ
11	19	登米	年末調整説明会	税務署
	19	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	11/６の研修時に撮影した新聞遊びの風景より
	20	登米	地域連携についてのアドバイス	関東での事例について
	21	愛知	風の子びれっじ・スクエア見学（株式会社主人公）	放課後等デイサービス・地域に開けた就労B施設の見学
	22	大阪	児童デイサービス実地研修（そうそうの杜）	サービス提供全般と、子どもたちへのかかわり方を学ぶ
	22	大阪	BCP研究会ワークショップ	災害時に事業所として何が出来るか、準備をするか考える
	23	南三陸	音楽療法（みやぎジョネット）	音楽療法の手法や方法についての基礎を学ぶ
12	5	登米	事務処理研修（救援本部）	会計事務
	6	亘理	「障害者習慣」　フォーラム（山元町社会福祉協議会）	障害者権利条約を学ぶ
	9	仙台	認定NPO法人講座（杜の伝言板ゆるる）	認定ＮＰＯの要件、事務処理について
	11	登米	臨床心理士研修（宮城県基盤整備事業）	ペアレントトレーニングとは何かを知る
	16	登米	アドバイザー研修（宮城県基盤整備事業）	事業運営について
	17	南三陸	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	現場見学
	18	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	発達支援コーチについて・概要を知る
	27	登米	福祉車両乗降介助講習（CILたすけっと）	リフト車の操作、車いすの介助の仕方について
1	6	登米	作業療法士研修（宮城県育成会）	発達支援コーチ　現場に沿った支援について
	10	仙台	「思春期の心理的問題と発達障害」東北福祉大 菊池陽子氏	ライフサイクルに沿っておきる思春期までの課題と、思春期の対応に関して
	10	登米	地域連携についてのアドバイス	来年度事業について
	21	登米	自動車運転者教習	熟練運転講習（適性検査・実技・運転シュミレーター他）
	24	登米	自閉っ子家庭のサバイバル（くりこま高原地球の暮らしを自然教育研究所）高橋みかわ氏	自閉症の子どもを持つ親御さんの取り組み
	26	南三陸	アドバイザー研修	モニタリングについて
	29	登米	登米市障害者福祉サービス事業所職員等研修会	障害者虐待防止法について
2	1	仙台	自閉症の特性理解と教育・支援（Schaleおおまち）水野敦之氏	自閉症の基礎・支援のフレームワークを学ぶ
2	6	登米	会計研修（救援本部）	会計処理について
	6	登米	作業療法士研修	発達支援コーチ　現場に沿った支援・反射について
	12	仙台	NPO法人ぱるけ報告会	ぱるけ職員の研修報告
	16	仙台	アセスメントを高める研修（しゃ～れおおまち）	
	17	登米	ケース会議研修（宮城県基盤整備事業）	ケース会議・情報交換（作業療法士・心理士のアドバイス）
	24	南三陸	アドバイザー研修（宮城県基盤整備事業）	法人運営に関して
3	4	登米	作業療法士研修（宮城県基盤整備事業）	気になる子どもの『ぎこちない』ことに気付く
	17	登米	臨床心理士研修（宮城県基盤整備事業）	知能テストについて
	20	仙台	福祉サービス事業者集団指導（宮城県）	平成２７年度報酬改定について
	20	仙台	ペアレントトレーニングファシリテーター育成研修会	ペアレントトレーニングの実践について

〈H26 年度 研修 総括〉

平成 26 年度の研修では、スタッフが分担して数多くの研修を受け、知識の共有を図った。中でも臨床心理士研修、作業療法士研修、ペアレントプログラム研修は、複数回の研修であり、子どもたちの特性を理解し、意識と対応の向上を図ることが出来たと思われる。ペアレントプログラム研修で学んだ褒め方、褒めることの大切さを再度認識することで、やさしい声がけが昨年度よりスムーズに出来るようになったのは特筆すべき成果である。子どもたちの行動ものびのびと感じられ、昨日まで出来なかったことが今日出来る喜びを、スタッフも子ども達と一緒に感じている。

今後は、これまでの研修の蓄積を新しく入ったスタッフへ伝えていくために、研修報告を一方的な報告ではなく、双方向の学びあいが出来る事業所内研修へと高めて行きたい。また、医療的ケアの研修や、親御さんとペアレントプログラム研修を受けるなど、もう一段階広がりのある支援への準備をし、子どもたちの成長を支えたい。

ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

（3）団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動

◇ ペアレントプログラム研修の主催（協力：宮城発達障害者サポートセンターえくぼ）

※　合同で研修を開催することで、地域事業者間の連携の構築を図った。

開催日：平成 27 年 1 月～3 月（計 5 回）
開催場所：NPO 法人奏海の杜登米事務所
参加団体：めぐみキッズハウス（NPO 法人泉里会　気仙沼市）：4 名
ワーカーズコープ南三陸（ワーカーズコープ　南三陸町）：2 名
NPO 法人奏海の杜：7 名

◇ 自立支援協議会への参加

※　南三陸町自立支援協議会、及び、南三陸町自立支援協議会児童部会へ参加し、課題に対処するとともに、地域間連携を図った。

◇ 情報発信

※　様々な媒体を通して活動を広報することで、活動を周知するとともに、利用者たちが地域へアクセスすることを支援した。

◎ 広報誌「にこ de ま～る」
：毎月発行。利用者を含め町内約 30 ヵ所へ配布。半年分を会報『かなみ』としてまとめ、全国約 120 の会員の方々へ送付している。

◎ ブログ「かなみのもり」
：不定期更新（平均 7 回 / 月更新）よりタイムリーに奏海の杜の活動を伝えられるよう更新している。Facebook や Twitter とも連携している。

◎ メディア掲載
- 仙台放送　子ども広場の様子について（H26.4）
- 河北新報　奏海の杜の設立経緯、現在の活動について（H26.12）
- 『STORY』 震災後から現在にいたる活動、今後について（H27.3）

（4）その他目的を達成するために必要な事業

◇ 法人組織の基盤作り

◎スタッフの増員（平成 27 年 3 月、常勤 1 名、パート 1 名増）
◎会計・管理に関する業務指導（救援本部、みやぎＮＰＯセンター）
◎労務業務の委託（TSC/H27.3 より）

【3．実施体制等に関する事項】

◇ 会員の構成（平成 26 年度末）

正会員：17（内訳：16 個人、1 団体）
賛助会員：66（内訳：61 個人、5 団体）

◇ 総会・理事会

◎第 1 回通常総会

日時：平成 26 年 5 月 23 日（金）19:00～21:00
場所：南三陸町入谷公民館（南三陸町入谷水口沢１２-３）
議事：平成 24 年度 収支決算修正報告
平成 25 年度 事業報告
平成 25 年度 収支決算報告
会計監査報告
平成 26 年度 事業計画（案）
平成 26 年度 収支予算（案）
役員改選の件

◎第 1 回理事会

日時：平成 26 年 8 月 28 日（木）10:00～11:00
場所：奏海の杜登米事務所（登米市中田町上沼西桜場 32 番地 1）
議事：理事辞任に伴う後任理事の選任

◎第 2 回理事会

日時：平成 27 年 2 月 23 日（月）17:00～18:00
場所：奏海の杜登米事務所（登米市中田町上沼西桜場 32 番地 1）
議事：理事長交代

◇ 役員・職員について

役員総数：６名（理事５名、監事１名）
代表者：理事長 太齋京子（平成２７年３月１日より）
職員総数：９名（常勤：法人本部２名、児童デイ４名、パート３名）
※ 平成 27 年３月末現在：次年度の準備のためスタッフを増員しました。

◇ 事業に参加したボランティアについて

参加者総数：延べ約 80 名（カリタスジャパン、長期休みの学生他）

原点の写真を見つけましたので、こっそりと。

消防署のご協力で充実の避難訓練

石巻の施設見学とサンタパレードに参加

◇ 平成 26 年度にご支援いただいた団体（順不同、敬称略）

今年度は以下の団体さまとその他個人の方から、合わせて 2,418,821 円の
ご寄附を、21,294,730 円の助成金を、いただきました。つながり続けて下さり
多大なお心遣い、ありがとうございました！

○ 社会福祉法人 そうそうの杜（募金・イベント売上金他）　91,806 円
○ 特定非営利活動法人 自立生活センター・いこらー　20,000 円
○ デンソーグループ はあとふる基金　200,000 円
○ 特定非営利活動法人 みんなの労働文化センター　30,000 円
○ 株式会社 高野コンクリート　300,000 円
○ 日本カトリック司教協議会　10,000 円
○ みぞはた保育園（バザー売上金）　10,962 円
○ 被災地の中高生に参考書を送る会　20,800 円
○ 日本自立生活センター（夏祭り売上金）　21,279 円
○ 株式会社主人公　50,000 円
○ 若葉建設株式会社　10,000 円
○ 大阪市従業員労働組合公園支部　10,000 円
○ 公益財団法人 ソロプチミスト石巻支部　30,000 円
○ 真如苑　1,000,000 円
○ デンソー企業年金基金　30,000 円
○ 祈りの瞑想会　50,000 円
○ 伊豆つくし学園親の会　10,000 円
○ 特定非営利活動法人 出発のなかまの会　50,000 円
○ 財団法人 宮城県肢体不自由児協会　30,000 円
○ 公益財団法人 地域創造基金さなぶり（こどもはぐくみファンド）2,500,000 円
○ 東北関東大震災救援本部 18,794,730 円